



豊田中学校 学校だより

# 豊田の里

平成31年4月10日

第1号

発行 豊田中学校

## 平成31年度始業式 式辞

暖かな春がやってきました。木々の枝や野原に芽吹く新緑に、命の力強さを感じます。

そんな景色に、一年の始まりを感じ、新鮮な気持ちになって「よし、頑張るぞ」と自然に思うこの春が私は大好きです。この先に待ち受ける未体験ゾーンに立ち入っていく「わくわく感」「どきどき感」もまた大好きです。

先ほど、代表で抱負を語ってくれました堀内さん、宮木さんの言葉からも「よし、やってやるぞ」という意気込みが大変よく表れていたと感じました。

さて、この平成31年度も5月からは新元号「令和元年」となります。この新元号は、万葉集の梅に関する短歌の序文の中から選んだものだという説明がありました。万葉集は、現存する日本最古の歌集でもあります。こうした文化が途切れることなく現代まで続いた結果に今の時代があるわけですから、日本人の心、ルーツを確認するような元号になったと感じました。

皆さんは、この元号、どんな感じで受け止めましたか？

さて、これから始まるこの1年は、この豊田中学校にとっても大変重要な一年となります。

それは言うまでもなく、ながふじ学府の一体校化の新校舎建設工事がいよいよ始まるのです。ここにいる皆さんは、新校舎に入ることなく中学校を卒業することになるのですが、豊田中学校の精神を、新たな学校に引き継いでいくという大きな使命があります。

工事が始まれば、グラウンドの使用や騒音等様々な面で、皆さんに迷惑をかけていくことと思いますが、十分な環境が整わなくても、精神面を鍛え、伝統を引き継いでいくことは可能だと思います。皆さんの、創意工夫と行動力でカバーしていきましょう。

これらの事情により、例えば、2学期に行っていた体育大会も1学期中に実施するなどの変更点も多々出てきますが、気持ちが一つになっていれば、時期など関係なく成功に導けるものです。皆さんが一つ方向に向かって、同じ目標を共有しながら気概をもって頑張っていこうではありませんか。

私は、学校の主役は生徒だと思っています。先生方は、その生徒が輝いて、楽しく安全に生活できるようにする黒子ではなかと思っています。

だからこそ、これからの生活で起こる様々な出来事に対して、「主役は自分だ」という意識で人ごとにしないで取り組んでほしいと思います。それが「志」をもつということだと思います。

学校は、社会生活の基礎を学ぶところです。自分を取り囲む様々な人との関わりをとおして、失敗や成功を繰り返しながら多くのことを学び、成長していく場です。

失敗を恐れたり、傍観者であったりしては、折角の成長のチャンスも失ってしまいます。

まずは、この1学期、そうした様々な経験をとおして成長できるよう、積極的な生き方を意識して、今日新しく縁を結んだ学級の仲間とともに、生活してください。

皆さんの活躍を祈って、始業式の式辞といたします。



平成31年4月4日

校長 鈴木 一啓



平成31年度の学校組織・職員です。一年間どうぞよろしくお願ひします。

校 長	鈴木 一啓	教 頭	安藤 和典
教務主任	田中 誉也	生徒指導主事	杉田 直樹



		1 年		2 年		3 年	
学年主任		山本 佳奈	国	鈴木 康重	数	安間 久芳	国
学年付		堂地 稔光	英	石川 収一	理	近藤 範光	技術
		村松 貴子	美			渥美 直和	美
学級担任	1	白井 伸明	社	福永 将	保体	進士 昌毅	社
	2	松林 潤	理	山下 真生	英	大庭 礼	国
	3	佐藤 瞳	数	河合 佑一	社	岩倉 由起	家庭
	4	水野 美江	英	宇敷 志保	音	大根 善生	保体
	5	竹下 幸枝	英	竹下 幸枝	英	竹下 幸枝	英
	7	池島 弘典	理				
保健関係		古田 伸子 (養護主任)					
事務関係		長島 猛 (事務主任) 杉山くみ子 天野 弘之					
支援員等		ニコラス ウッド (ALT) ディック スペンサー (ALT) 岩堀 哲也 (拠点校指導員) 鈴木 晴美 (市: 支援員) 松山 恵子 (市: 支援員) 藤野二三子 (市: 支援員) 望月 賀子 (心の相談員) 山浦こずえ (CSD) 鈴木 真理 (SSW) 水野 裕美 (SC) 神 巳津代 (学校図書支援員)					